

クリーン少年野球連盟試合規定と注意

- 1 本試合規定は、クリーン少年野球連盟規約の定めに基づき、連盟が主催するクリーンリーグ戦（以下「リーグ戦」という。）及びトーナメント大会（上部大会の予選大会等を含む）の試合実施基準を定める。
- 2 リーグ戦の実施
リーグ戦は、次の基準により実施する。
 - (1) 加盟チームの総当たりで行う。
A戦は6年生以下の選手で行い、B戦は「新人リーグ戦」と称し5年生以下の選手で行う。
 - (2) 選手登録
チーム登録は、毎年1月理事会で承認（しおり登載）する。追加、変更の登録は毎月の定例理事会を基本とするが、緊急事態等の対応によって理事会が開催中止になった場合には試合当日に追加登録できるものとする。
 - (3) 回数
試合回数は、A戦、B戦ともに6回戦とする。
 - (4) 試合時間
試合時間は、A戦、B戦ともに1時間30分とする。ただし、試合時間を過ぎて新しいイニングに入らない。
 - (5) 集合時間
試合開始40分前までに集合し、開始30分前に大会本部にメンバー表を提出する。両チーム主将はジャンケンを行い、勝ったチームが優先的にベンチを決めることができる。一塁側ベンチ入りチームを後攻とし、三塁側ベンチを先攻とする。
 - (6) 延長の場合
6回終了後、又は制限時間を過ぎて同点の場合に延長戦は行わず、タイブレーク方式を採用する。
 - (7) タイブレーク方式
タイブレーク方式は、継続打順で前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする無死一塁・二塁の状態にして、投手の投球制限を遵守の上、最大2イニングまで行う。2イニング行つても勝敗が決まらない時は、最終メンバー9名による抽選を行い、勝敗を決定する。
 - (8) コールドゲーム
A戦、B戦ともに、3回10点、4回以降7点差以上ついた時、又は強風、降雨、雷、日没などによる試合不能の場合は4回終了をもって成立する。
 - (9) 記録の提出
試合終了後、互いに記録の整理をし、確認を行い、所定の用紙を作成し、広報記録部員又は運営部員に提出すること。
 - (10) 成績（順位）
A戦、B戦ともに勝率により決定し、1位が同率の場合に限り、決定戦を行う。
決定戦の順位決定は、①総当たりの勝敗 ②得失点差 ③得点差の順で行う。3位以

下は得失点差とする。

3 トーナメント大会の実施

トーナメント大会は、次の基準により実施する。

- (1) リーグ戦以外に連盟で主催する小松川平井地区少年野球大会、新人トーナメント大会、B S 大会、低学年大会等は、勝ち抜き戦（トーナメント戦）で行い、ルールは審判部で別途定める大会実施要項等による。

なお、定めなき時は、クリーン少年野球連盟試合規定と注意に準じる。

- (2) 審判部で別途定める大会実施要項等については、あらかじめ開催される代表者会あるいは抽選会において説明するものとする。

(3) 登録選手

選手の登録は、背番号99までの人数を登録可能とする。（除く、28, 29, 30）

(4) 集合時間

試合開始40分前までに集合し、開始30分前に大会本部にメンバー表を提出する。

ベンチは、番号の若いチームが一塁側、後のチームは三塁側とし、先攻、後攻はジャンケンで決める。

4 試合の実施基準

リーグ戦及びトーナメント大会は、次の基準（共通）により実施する。

(1) 試合球

J号健康ボールを使用する。

(2) ヘルメット

ヘルメット（耳付き）は、8個以上用意し、打者、次打者、走者、一、三塁コーチャーは、ベンチからヘルメットを着用してコーチャースボックスへ行くこと。また、ボールボーイもヘルメットを着用すること。

(3) 捕手の防具

捕手と控え捕手は、マスク、ヘルメット、プロテクター、レガーズ、ファールカップを着用する。なお、投球練習の際も同様とする。なお、マスクには、JSBB及びSGマークの2種類がついているものを使用すること。

(4) バット

金属バットは、全軟連（JSBB）マークのあるものを使用すること。

ただし、古いバット、マークが消えているものやヘコミ、キズ等打った時に不規則な打球になると審判が判断した場合は、使用できない。

(5) 次打者

ネクストバッターズサークルで座って待機すること。ただし、バットを振ることは禁止する。

(6) 投手

投手は、変化球の使用を禁止する。また、投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、1人の投手は、1日70球以内を投球できる。試合中に70球に達した場合、その打者が完了するまで投球できる。ただし、70球以内に投手を交代した者は、再び投手として70球以内であれば戻ることができる。また、4年生以下は16mでの投球を禁止する。（なお、江戸川学童軟式野球連盟が異なる変更を行った場合は、江戸川学童軟式野球連盟に準ずる。）

(7) 投球練習

初回及び交代の場合に限り、8球以内とし、次回からは4球以内とする。（日本軟式野球連盟ルールに準ずる。）

(8) ベンチ入り、ユニフォーム等

ベンチに入ることができるのは、選手25名、代表、監督、コーチ（28番、29番）2名、スコアラー、保護者代表各1名以内、計31名までとし、試合前の練習は開始30分前までにメンバー表を登録した時点から、監督、コーチ（28番、29番）以外はグランド内に入って行うことは出来ない。また、監督、コーチ（28番、29番）、選手は、統一したユニフォーム、帽子を着用すること。ただし、理事会で承認した場合はこの限りではない。

(9) 抗議権

抗議権は、当該選手と監督とする。

(10) グランドルール

球場により、審判部が決定したルールを適用する（理事会にて承認）。

(11) 放棄試合

所定の場所、時間に集合できない場合、放棄試合とみなし7対0をもって試合終了とする。ただし、事前連絡があった場合、連絡ミスなどのあった場合は理事会にて審議決定する。

(12) 試合ルール

本規定に定めなき事項は、日本軟式野球連盟ルールに準ずる。

(13) ファールボールの処理

一塁方向は一塁ベンチ、三塁方向は三塁ベンチ、ネット周辺は攻撃側が取りに行く。

(14) 試合の進行

審判の指示に従い円滑に行なうこと。

(15) 公式戦日程

運営部で作成する。

(16) その他

その他、試合などに関する必要とされる事項については、理事会において十分審議し、決定されるものとする。